

## 案件2

### 令和3年度決算について



## 案件2

## 令和3年度決算について

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、危機的な医療の逼迫状態となった中においても、感染症指定医療機関として地域の感染症医療の中心的な役割を果たすべく、大阪府との綿密な連携のもと、重症患者を含む数多くの患者を受け入れました。

また、新型コロナウイルス感染症への対応だけでなく、通常診療との両立をはかるという基本方針のもと、地域連携の強化を図るとともに、消化器センターや下肢機能再建センターなどの専門的な医療体制のさらなる充実により質の高い医療を提供することで、地域から信頼され選ばれる病院となるよう取り組みました。

加えて、「市立ひらかた病院改革プラン」における目標の達成に向け、部署ごとの具体的数値目標を設定し、徹底を図るなど経営改善にも努めました。

## 1. 令和3年度の主な取り組みについて

## (1) 取り組み目標

コロナ患者への対応と通常診療の両立を目指す取り組みとして、通常診療における収益の向上に向けて、以下の目標数値を掲げ取り組みを進めてまいりました。

1. 地域連携の推進…【目標数値】 紹介率 70%・逆紹介率 90%・救急入院率 45%

【実績値】 紹介率 72.4%・逆紹介率 87.6%・救急入院率 40.8%

2. 目標値の達成… 【目標数値】 病床稼働率 80%

診療単価 10%UP・手術件数 10%UP・内視鏡件数 10%UP (2020 年度対比)

【実績値】 病床稼働率 72.3%

項目		2020 年度	目標値 (10%UP)	実績値
診療単価	入院	62,050 円	68,255 円	64,433 円
	外来	13,583 円	14,941 円	14,847 円
手術件数		3,354 件	3,689 件	3,429 件
内視鏡件数		5,003 件	5,503 件	5,394 件

## (2) 経営改善に向けた主な取り組みについて

- 新型コロナウイルス感染症への対応と通常診療の両立
- 地域医療支援病院の役割や機能の強化
- 外部経営コンサルタントの活用
- 収益力の向上に向けた医師の確保など診療体制の確保

## 2. 令和3年度決算について

### 1. 病院事業収益に関する事項

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額
医 業 収 益	9,078,757,326	8,263,312,893	815,444,433
入院収益	5,703,964,153	5,260,267,418	443,696,735
外来収益	2,644,646,566	2,315,541,857	329,104,709
その他医業収益	730,146,607	687,503,618	42,642,989
医 業 外 収 益	3,115,588,221	2,790,795,420	324,792,801
受取利息及び配当金	294,331	19,555	274,776
一般会計負担金	735,032,000	822,309,000	△ 87,277,000
補助金	1,798,399,040	1,501,947,266	296,451,774
長期前受金戻入	428,431,958	296,485,399	131,946,559
その他医業外収益	153,430,892	170,034,200	△ 16,603,308
特 別 利 益	6,431,550	230,474,830	△ 224,043,280
固定資産売却益	0	216,590,670	△ 216,590,670
過年度損益修正益	559,670	921,665	△ 361,995
その他特別利益	5,871,880	12,962,495	△ 7,090,615
病院事業収益計	12,200,777,097	11,284,583,143	916,193,954

### 2. 病院事業費用に関する事項

(単位:円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額
医 業 費 用	10,107,000,797	9,927,223,033	179,777,764
給与費	5,227,995,122	5,164,366,044	63,629,078
材料費	1,914,911,781	1,790,344,723	124,567,058
経費	2,075,018,054	2,050,071,156	24,946,898
減価償却費	856,133,040	874,926,027	△ 18,792,987
資産減耗費	16,973,026	35,584,460	△ 18,611,434
研究研修費	15,969,774	11,930,623	4,039,151
医 業 外 費 用	506,797,071	517,763,798	△ 10,966,727
支払利息及び企業債取扱諸費	112,088,881	116,387,817	△ 4,298,936
医師看護師養成費	12,810,000	9,803,448	3,006,552
雑損失	381,898,190	391,572,533	△ 9,674,343
特 別 損 失	429,940	2,853,770	△ 2,423,830
過年度損益修正損	429,940	3,840	426,100
その他特別損失	0	2,849,930	△ 2,849,930
病院事業費用計	10,614,227,808	10,447,840,601	166,387,207
当年度純利益	1,586,549,289	836,742,542	749,806,747
当年度利益剰余金	2,380,760,894	794,211,605	1,586,549,289

### 3. 令和3年度決算の経営指標について

項目	算 出 基 礎		令和3年度	令和2年度	増 減
病床利用率	一般	$\frac{\text{年延入院患者数 } 86,337 \text{ 人}}{\text{年延病床数 } 119,355 \text{ 床}} \times 100$	72.3 %	69.8 %	2.5 %
一日平均患者数	入院	$\frac{\text{年延入院患者数 } 88,842 \text{ 人}}{\text{診療日数 } 365 \text{ 日}}$	243.4 人	232.6 人	10.8 人
	外来	$\frac{\text{年延外来患者数 } 178,265 \text{ 人}}{\text{診療日数 } 242 \text{ 日}}$	736.6 人	702.1 人	34.5 人
外来入院患者比率		$\frac{\text{年延外来患者数 } 178,265 \text{ 人}}{\text{年延入院患者数 } 88,842 \text{ 人}} \times 100$	200.7 %	200.9 %	△ 0.2 %
救急搬送応需率		$\frac{\text{年延救急搬送応需件数 } 4,459 \text{ 件}}{\text{年延救急搬送依頼件数 } 5,204 \text{ 件}}$	85.7 %	88.3 %	△ 2.6 %
患者一人一日 当たり診療収入	入院	$\frac{\text{入院収益 } 5,703,964,153 \text{ 円}}{\text{年延入院患者数 } 88,842 \text{ 人}}$	64,203 円	61,958 円	2,245 円
	外来	$\frac{\text{外来収益 } 2,644,646,566 \text{ 円}}{\text{年延外来患者数 } 178,265 \text{ 人}}$	14,835 円	13,573 円	1,262 円
	合計	$\frac{\text{入院外来収益 } 8,348,610,719 \text{ 円}}{\text{年延入院外来患者数 } 267,107 \text{ 人}}$	31,256 円	29,651 円	1,605 円
医業収益に対する 医療材料費の割合		$\frac{\text{医療材料費 } 1,908,699,685 \text{ 円}}{\text{医業収益 } 9,078,757,326 \text{ 円}} \times 100$	21.0 %	21.6 %	△ 0.6 %
医業収益に対する 職員給与費の割合		$\frac{\text{職員給与費 } 5,205,009,122 \text{ 円}}{\text{医業収益 } 9,078,757,326 \text{ 円}} \times 100$	57.3 %	62.2 %	△ 4.9 %
総収支比率		$\frac{\text{総収益 } 12,200,777,097 \text{ 円}}{\text{総費用 } 10,614,227,808 \text{ 円}} \times 100$	114.9 %	108.0 %	6.9 %
経常収支比率		$\frac{\text{経常収益 } 12,194,345,547 \text{ 円}}{\text{経常費用 } 10,613,797,868 \text{ 円}} \times 100$	114.9 %	105.8 %	9.1 %
医業収支比率		$\frac{\text{医業収益 } 9,078,757,326 \text{ 円}}{\text{医業費用 } 10,107,000,797 \text{ 円}} \times 100$	89.8 %	83.2 %	6.6 %